



源氏物語の世界を作家・阿刀田高がご案内します。

源氏物語

楽しく、やさしい

かいぶらり教養セミナー
阿刀田館長 連続講座

■受付期間

8月12日(金)

～9月8日(木)

■定員

100名

■会場

山梨県立図書館1階 イベントスペース東面

■受講要件

- ・高校生以上で、全6回の出席が可能な方。
- ・あらかじめ教材を用意し、お読みいただける方。
- ・前回受講された方は出席回数を考慮します。

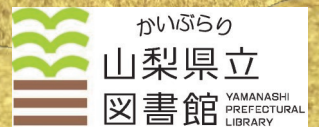
■講義時間

午後1時30分～午後4時

■お問い合わせ

山梨県立図書館 総務企画振興担当 〒400-0024 甲府市北口2丁目8番1号

電話055-255-1040 ファックス055-255-1042 電子メールshinko@lib.pref.yamanashi.jp



阿刀田館長講座 受講申込書

氏名 (漢字)	
氏名 (カナ)	
住所	〒
電話番号	— —
◎確認事項	<p>① 高校生以上であり、全6回の出席が可能です。</p> <p>② あらかじめ教材を用意し、各回の講座前に読んだ上で参加します。</p> <p><input type="checkbox"/> 同意します。(同意する場合はチェックをして下さい。 <u>チェックがないものは無効です。</u>)</p>

(切り取り線)

講義内容	<p>第1回 平成28年10月8日(土) 今、なぜ「源氏物語」か 「源氏物語」のあらまし。 古典を知る理由。「桐壺」「^{ははきぎ}帯木」 (テキスト1~2)</p>	<p>第2回 平成28年11月12日(土) 「源氏物語」水系と短編小説たち 「源氏物語」は二つの水系にたとえることができる。伝統的な物語をたどる主流と溜池のような短編小説。紫式部と藤原道長について。 (テキスト3~5)</p>	<p>世界に冠たる源氏物語を日本人としてザックリ、楽しく知っておこう。 とても気楽な教養講座としたい。 現代語訳を併読すれば望ましいが、テキスト『源氏物語を知っていますか』だけでも大丈夫。 日本人の常識ですぞ。</p>
	<p>第3回 平成28年12月10日(土) 貴種流離譚とは 明石からの復活。華やぐ源氏の君。 (テキスト6~8)</p>	<p>第4回 平成29年1月14日(土) 玉鬘物語として読む このあたり主人公はむしろ玉鬘ではないのか。女性は7・5・3という見方。 (テキスト9~11)</p>	
テキスト	<p>第5回 平成29年2月4日(土) 晩年と次のヒーローたち 柏木、夕霧、そして紫の上の死、源氏の君の最期。 (テキスト12~14)</p>	<p>第6回 平成29年3月11日(土) まとめと宇治十帖、紫式部についても あらためて全体をながめ、さらに統括というべき宇治十帖について少しと、紫式部について触れよう。 (テキスト15~18)</p>	
	<p>『源氏物語を知っていますか』 阿刀田高／著 新潮社 2,160円(税込)</p> <p>いずれかをご用意ください。 サブテキスト(現代語訳) 参考まで 『源氏物語』紫式部／著 瀬戸内寂聴／訳 全十巻 講談社文庫 『源氏物語』紫式部／著 円地文子／訳 全六巻 新潮文庫 etc.</p>	<p>『源氏物語を知っていますか』 または 阿刀田高／著 新潮文庫刊 961円(税込)</p>	

・出席が5回以上の受講者には館長名の修了証書を授与します。 ・各回とも、午後1時30分から午後4時
また全6回受講した方には館長サイン入り色紙を贈呈します。 館長が2時間程度講演し、終了前30分を質疑応答時間とします。

- * 募集期間内に、①ファックス②電子メール③図書館カウンター申込のいずれかの方法で、所定の様式によりお申し込みください。
- * 募集期間内に定員100名を超えた場合、抽選で選定しはがきで受講決定の可否を通知します。
- * 参加費は無料としますが、交通費、駐車場代、教材購入費は受講者の負担とします。
- * 図書館北側に普通車153台の駐車スペースがあります。
図書館利用者(受講者)は1時間以内は無料、以降30分につき一般車は150円の駐車料金が必要になります。
できるだけ環境にやさしい公共機関でご来館ください。